

経営協議会学外委員からの意見を大学運営に活用した主な取組事例

経営協議会学外委員からの意見	大学運営に活用した主な取組事例
<p>○平成 27 年 11 月 17 日開催分</p> <p>報告 8：起業家塾について 意見：</p> <ul style="list-style-type: none"> 青森県中小企業団体中央会も様々な取り組みをしているため、共催に加えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 青森県中小企業団体中央会からの要望に応え、平成 27 年度第 5 回起業家塾（12 月 22 日開催分）より共催者に加盟頂いた。
<p>○平成 28 年 1 月 19 日開催分</p> <p>審議 3：平成 28 年度予算配分方針について 意見：</p> <ul style="list-style-type: none"> 優れた研究には大学が支援することとしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 従来より実施してきた学内の公募型研究助成事業において、引き続き支援を実施するとともに、平成 28 年度から本学の研究を推進支援するため新たな支援事業を追加した。 <p>【従来より実施の公募型研究助成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 弘前大学機関研究 弘前大学若手・新任研究者支援事業 弘前大学学術特別賞 <p>【平成 28 年度より開始する新規支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 卓越研究者支援事業
<p>○平成 28 年 1 月 19 日開催分</p> <p>その他 意見：</p> <ul style="list-style-type: none"> 金融機関の専門部署には企業の情報が集まるため、そのような専門部署と意見交換することによりマッチングしてはどうか。 <p>東京等で実施する研究成果発表会のような取組みが外部資金獲得に結びつくのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 金融機関との意見交換の充実に資するため、以下の取組を実施。 <ul style="list-style-type: none"> 「イノベーションネットワークあおもり」（代表・青森県知事）の実行部隊である「タスクフォース」において、青森銀行、みちのく銀行の担当者を含めた構成員と月 1 回事業内容報告等の情報交換を実施。 「イノベーションネットワークあおもり」の平成 28 年度事業として、八戸市において企業と大学・研究機関とのマッチングを行う予定。 北東北 3 県の金融機関（青森銀行、岩手銀行、秋田銀行）で構成される Netbix に、北東北 3 大学（弘前大学、岩手大学、秋田大学）が Netbix + として参加し連携を推進するための手続き中。 平成 26 年度より北東北 3 大学（弘前大学、岩手大学、秋田大学）が連携・協力しながら、研究成果（特許）等の大学シーズを発表する場として、「新技術説明会」を開催している。その際、発表したシーズに興味を持った企業と、共同研究及び共同開発の可能性検討のための秘密保持契約のもと、交渉を続けている。また、実際に平成 27 年度より共同研究へ発展したシーズもあり、現在も共同研究は進行中である。